

令和元年度第2回中部森林管理局保護林管理委員会 議事概要の公表について

保護林管理委員会は、森林・林業や自然環境に関する専門家、関係地方公共団体等で構成され、中部森林管理局管内における保護林の設定、変更、廃止、管理及びモニタリング等に関する事項並びに保護林に関連する生物多様性の保全について検討を行っています。

「令和元年度第2回中部森林管理局保護林管理委員会」を以下のとおり、開催しましたので、その議事概要等を公表します。

1 開催日時 令和2年2月18日(火) 13時15分～15時15分

2 開催場所 長野県長野市大字栗田715-5
中部森林管理局大会議室

3 議事概要 別紙のとおり

4 検討内容

- (1) 令和元年度 保護林モニタリング調査結果の概要について
- (2) 令和元年度 緑の回廊モニタリング調査結果の概要について
- (3) 令和2年度 保護林・緑の回廊モニタリング調査計画について
- (4) その他

—お問合せ先—

林野庁 中部森林管理局 計画保全部計画課
担当者： 富岡、熊崎
電話： 050-3160-6537



令和元年度 第2回中部森林管理局保護林管理委員会 議事概要

開催日時 及び場所	令和2年2月18日(火) 13:15～15:15 中部森林管理局 大会議室
出席委員	植木 達人 (信州大学農学部 教授) 委員長 生方 正俊 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 材木育種センター 遺伝資源部 部長) 奥 敬一 (富山大学芸術文化学部 准教授) 小宮山 義光 (日本野鳥の会長野支部 幹事) 西條 好迪 (自然学総合研究所 理事長) 竹中 千里 (名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授) 柳 真子 (専門学校職藝学院 准教授) 由井 正隆 (長野県木材共同組合連合会 理事) (五十音順)
議 題	1 令和元年度 保護林モニタリング調査結果の概要について 2 令和元年度 緑の回廊モニタリング調査結果の概要について 3 令和2年度 保護林・緑の回廊モニタリング調査計画について 4 その他
概 要	<p>委員からの主な意見</p> <p>1. <u>令和元年度 保護林モニタリング調査結果の概要について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物群集保護林(苗場山湿原)で、オオソラビソの立枯れが報告されているが、前回の毎木調査からの枯死木の材積変化に加え、胸高・樹高等の形状や林相を比較した考察があると、今後の管理により役立つと考える。 ・昨年の台風による倒木被害が発生している箇所が見られるが、倒木を放置すると湿原の乾燥化が進む恐れがあるのではないかと。 ・倒木被害の状況にもよるが、原則は自然の推移に委ねるが、人命等に危険が及ぶ場合などは対策を講じる必要があるのではないかと。今後も調査等において緊急的な場合は現地に出向いて検討すべきと考える。 ・外来種について、保護林内への侵入はないものの、周辺では見られることから、モニタリングを実施する必要がある。 ・大型鳥類を保護対象種としている保護林周辺において、人為的な影響があると報告されているが、聞き取り調査にあっては、より詳しい情報の把握が必要である。 <p>2. <u>令和元年度 緑の回廊モニタリング調査結果の概要について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の回廊の機能評価においては、植生調査が重要であり、林況に大きな変化はないと見られるような場合においても、動物の変化や倒木更新などを分析する上で必要な調査である。 <p>3. <u>令和2年度 保護林・緑の回廊モニタリング調査計画について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・局案により計画的に進めていただきたい。 <p>4. <u>その他</u> (保護林内における各種行為の状況報告について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護林内で行われた試験研究については、各研究機関の結果・成果等の情報収集に努め、委員会での報告をお願いしたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>